

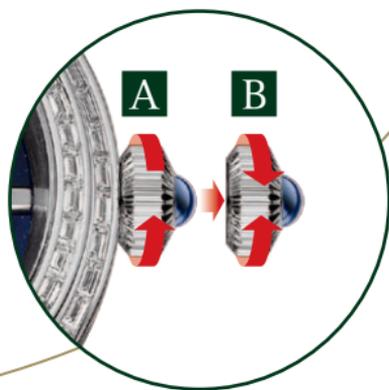
INSTRUCTIONS FOR USE  
MODE D'EMPLOI

# TOURBILLON

CALIBRES 2861, 2938, 2939 AND 2940  
HAND-WOUND

AUDEMARS PIGUET

*Le Brassus*



# 日本語

使用説明書の目次はインタラクティブになっています。  
読みたい項目のタイトルもしくはサブタイトルをクリックしてください。

目次に戻りたい場合は縦に配された白いインデックス  
「日本語」をクリックしてください。

## 保証とお手入れ

時計の保証、および推奨するお手入れ方法に関する全ての詳細な情報は、証明書および付属の保証書に記されています。



## 目次

イントロダクション 202ページ  
- オーデマ ピゲのマニュファクチュール

時計について 206ページ  
- トゥールビヨン  
- 天然石

この時計について 212ページ  
- ムーブメント  
- ムーブメントの仕様  
- 特徴

機能の使い方 222ページ  
- 時計の表示と機能  
- 時刻合わせ  
- ムーブメントの巻き上げ



## イントロダクション オーデマ ピゲの マニュファクチュール

### 時計製造技術の発祥の地、ジュウ渓谷

ジュネーブの約50 km北、スイス・ジュラ山脈の中に、今日までその自然の魅力を保っている地域、ジュウ渓谷があります。この山岳地帯は気候が厳しく、土壌も痩せていたため、この地に根を下ろした人々は18世紀の中頃に、農業以外の収入の道を探すことを考えました。コンビエと呼ばれたこの土地の人々は、手先の器用さと新しいものを創造する力、また不屈の精神を活かして、時計製造業へと発展していくことになりました。

こうして作られたムーブメントは質が高く、ジュネーブの企業に大変な好評をもって迎えられ、完全な時計に仕上げられたのでした。

1740年以降、ジュウ渓谷のみで時計製造業は自立した産業として発展することができるようになりました。このとき以来、この地域は、ある年代記の1881年の項に記されているように、「急速に発展を遂げた桃源郷」へと変貌したのです。





### 偉大なる冒険に挑んだ2つの名前

1875年、複雑時計の製作に情熱を傾ける2人の若き天才時計職人、ジュール＝ルイ・オーデマとエドワール＝オーギュスト・ピゲが、高級時計産業が盛んな地、ジュウ渓谷で2つの才能を集結させ、複雑機構を搭載した時計を開発・製作しようと決意しました。2人の決意、想像力、そして規律の正しさは、ただちに成功を収めました。1885年ごろ2人はジュネーブに支店を構え、1889年のパリ万国博覧会の際には様々な超複雑懐中時計を発表して、新たな取り引き関係を広げます。オーデマ ピゲのマニファクチュールは年々と発展を続け、例えば1892年には初めてのミニッツリピーター機能付きの腕時計、1915年にはそれまで実現されたことのない5分単位ミニッツリピーター機能を備えた最小ムーブメントを製作するなどして、高級時計産業の歴史を彩ってきました。

1918年からは、創設者の息子たちが事業を受け継いでいます。男性用、女性用の腕時計の製作に卓越した技術を発揮し、極薄の洗練された新しいムーブメントを作り出しています。1929年のウォ

ール・ストリート株価大暴落によって厳しい経営を強いられるものの、粘り強さと信念を持ち続けることで、まずスケルトンと呼ばれる時計の製作を再び軌道に乗せ、その後クロノグラフ付き時計の製造に乗り出しました。しかし、この新しい勢いも、第二次世界大戦によって突然中断を余儀なくされてしまいます。戦後は再編成をし、マニファクチュールは、「伝統と革新」を追究しつつ、ハイエンドウォッチの製作に注力。そして特に、クリエイティブの斬新さという方針により、戦略は実を結んだのです。



国際的な成功を収めたオーデマ ピゲ は、1972年にステンレススティールを用いた世界初のラグジュアリースポーツウォッチとして発表され、発売と同時に大きな成功を収めたロイヤル オークの製作をはじめ、1986年に発表された世界初の自動巻きの極薄トゥールビヨン腕時計などの製作を続けてきました。以来、マニファクチュールの創造のひらめきは衰えることなく、比類ないムーブメントを備えた独自の美しさを持つ時計を世に送り続けています。こうして80年代末には複雑時計のテストをコンテンポラリーなものに一新し、1999年には見事なコレクション、トラディション オブ エクセレンスを発表します。オーデマ ピゲはこのシリーズの一環として、オーバルケースデザインのミレネリーのトラディション オブ エクセレンスNo.5を発表しました。この時計には、パワーリザーブ・インジケーター機能、デットビートセコンド機能、垂直に配された永久カレンダーが備わっており、さらには潤滑油を必要とせず革命的な高い効率で機能する新脱進機システムを搭載することにより、伝統に根付いた大胆なスピリットを実現しながら、未来をも約束しています。

## 時計について トゥールビヨン

**18世紀の後半から、最も卓越した時計製作者たちが時間測定の正確さを高めることに身を捧げてきました。**

克服すべき大きな問題は、どんなポジションでも時計が同じように調節されるようにしようとすることでした。地球の重力の関係で、垂直に配置された調節パーツ（テンプ、ひげぜんまい）は、非常にわずかな平衡差にも悪影響を受けてしまい、時計の歩度にずれが生じてしまいます。

1801年、時計製作者アブラハム・ルイ・ブレゲは、どんなポジションにあっても、歩度のずれを平衡化するトゥールビヨンを用いた調節システムを考案しました。

機能の原理は、現在まで全体的には同じものです。つまり、脱進機のパーツ（歯車、アンクル、テンプ）はムーブメントに固定されておらず、可動ケーシングによって支えられています。このケーシングは脱進機パーツによって1分ごとに一回転するため、部品全体が常にポジションを変えられるようになっています。こうして、重力の影響による歩度のずれを補うことができます。

185年後の1986年、オーデマ ピゲは、自動巻き機械式ムーブメントを用いた極薄腕時計シリーズにおいて初めてこのシステムを組み入れることに成功しました。

オーデマ ピゲは今日、25のトゥールビヨン搭載ムーブメントを有し、このコンプリカシオンのあらゆる秘密を自在に操る、世界でも有数のマニファクチュールとなっています。

## 時計について

### 天然石

貴金属やサファイヤガラスは時計の部品として多く使われています。モデルによっては天然石を使うことにより非常に美しい表面印象に上げることができます。

2001年、オーデマ ピゲはエドワール・ピゲ コレクションのためにルチル含有クォーツをメインプレートに採用したトゥールビオンを製作しました。この石が選ばれたのは、黄金色の細かなインクルージョンがまるで装飾模様のように散りばめられているからです。

それ以降、ル・ブラッシュのマニュファクチュールは様々な天然石を使い新しい試みを行いました。植物の形のような気泡が入ったバブルアガット、ミルキーな輝きのカルセドニー、アラゴナイトとコンキオリンの組み合わせさせた虹のような輝きのマザーオブパール、鉱物を多く含んだパワフルで魅惑的なオニキスなどです。

今回採用されたのは、ブルーのアヴェンチュリンです。いくつかのダイヤルに使われている深いブルーの半貴石は輝く星をちりばめた夜空を思わせます。

きらめき、モチーフ、輝き：それぞれの石はユニークな個性を持っています。宇宙の長い時の中に生まれた火、岩、水と気体の長い歴史を物語っているのです。





## 革新的な加工技術

時計の主要部品（地板）またはダイヤルのパーツに使用する天然石の加工はとて繊細な作業です。

研削などの通常の加工方法は通用しません。堅い研磨剤が素材を破損してしまうことで石にひずみができ、物理的な衝撃や熱によって、小さな素材片が欠損しやすくなるからです。

オーデマ ピゲはこの挑戦に敢然と立ち向かい、革新的な技術を取り入れました。懸濁液（研磨剤を分散させた液体）を利用した超音波による加工法を、時計製作の分野においては世界で初めて導入したのです。

マニュファクチュールは5年もの歳月をかけて新しい設備を開発し、100分の1ミリ単位の正確さで、完璧なカッティングと表面加工技術を手に入れました。とはいえ、これは大変時間のかかる方法でもあります。毎秒400万振動の加工技術により1ミリを削るのに1時間ほどもかかります。例えば一枚の地板を仕上げるには一週間を要するのです。

## この時計について ムーブメント

キャリバー 2861



ケースバック



ダイヤル側

### ムーブメントの仕様

ムーブメントの厚さ: 7.10ミリ

寸法: 35.10 x 30.10ミリ

振動数: 3 Hz (21,600 振動/時)

石数: 15

パワーリザーブ (ミニマム): 72時間

手巻き

ジャイロマックステンブ

ブレゲヒゲゼンマイ

可動ヒゲ持ち受け

部品数: 184

### 特徴

スケルトンムーブメント

カルセドニーの地板、ピンクゴールドのリング、  
ダイヤモンドセット

手作業で仕上げられたブリッジ (面取り加工、  
エッジにサテン仕上げ、さら穴にペルラージュ  
装飾)

手作業で仕上げを施したカットパーツ (ポリッ  
シュ仕上げのアングル、表にヘアライン、裏にス  
クランプル ライン)

## この時計について ムーブメント

オニキスキャリバー 2861



ケースバック



ダイヤル側

### ムーブメントの仕様

ムーブメントの厚さ: 7.10ミリ

寸法: 35.10 x 30.10ミリ

振動数: 3 Hz (21,600 振動/時)

石数: 15

パワーリザーブ (ミニマム): 72時間

手巻き

ジャイロマックステンブ

ブレゲヒゲゼンマイ

可動ヒゲ持ち受け

部品数: 184

### 特徴

スケルトンムーブメント

オニキスの地板、ピンクゴールドのリング、ダイヤモンドセット

手作業で仕上げられたブリッジ (ート・ド・ジュネーブ、面取り加工、エッジにサテン仕上げ、さら穴にペルラージュ装飾)

手作業で仕上げを施したカットパーツ (ポリッシュ仕上げのアンクル、表にヘアライン、裏にスクランブル ライン)

## この時計について ムーブメント

キャリバー 2938



ケースバック



ダイヤル側

### ムーブメントの仕様

ムーブメントの厚さ: 7.10ミリ

寸法: 35.10 x 30.10ミリ

振動数: 3 Hz (21,600 振動/時)

石数: 19

パワーリザーブ (ミニマム): 72時間

手巻き

ジャイロマックステンブ

ブレゲヒゲゼンマイ

可動ヒゲ持ち受け

部品数: 187

### 特徴

スケルトンムーブメント

アヴェンチュリンの地板、ホワイトゴールドのリング、ダイヤモンドセット

手作業で仕上げを施したブリッジとメインプレート

手作業で仕上げを施したカットパーツ (ポリッシュ仕上げのアンクル、表にヘアライン、裏にスクランブルライン)

## この時計について ムーブメント

キャリバー 2939



ケースバック



ダイヤル側

### ムーブメントの仕様

ムーブメントの厚さ: 7.10ミリ

寸法: 35.10 x 30.10ミリ

振動数: 3 Hz (21,600 振動/時)

石数: 19

パワーリザーブ (ミニマム): 72時間

手巻き

ジャイロマックステンブ

ブレゲヒゲゼンマイ

可動ヒゲ持ち受け

部品数: 191

### 特徴

スケルトンムーブメント

ホワイトゴールドの地板、ホワイトゴールドのリング、ダイヤモンドセット

手作業で仕上げを施したブリッジとメインプレート

手作業で仕上げを施したカットパーツ (ポリッシュ仕上げのアンクル、表にヘアライン、裏にスクランブルライン)

## この時計について ムーブメント

キャリバー 2940

ピンクゴールド



ホワイトゴールド



ケースバック



ダイヤル側



### ムーブメントの仕様

ムーブメントの厚さ: 7.10ミリ

寸法: 35.10 x 30.10ミリ

振動数: 3 Hz (21,600 振動/時)

石数: 19

パワーリザーブ (ミニマム): 72時間

手巻き

ジャイロマックステンブ

ブレゲヒゲゼンマイ

可動ヒゲ持ち受け

部品数: 190

### 特徴

スケルトンムーブメント

ゴールドの地板、ゴールドのリング、  
ダイヤモンドセット

手作業で仕上げを施したブリッジとメインプ  
レート

手作業で仕上げを施したカットパーツ (ポリッ  
シュ仕上げのアングル、表にヘアライン、裏にス  
クランブル ライン)

## 機能の使い方

### 時計の表示と機能

(図を参照)

- ① 時針
- ② 分針

この時計は2つのポジションを有するリューズを備えています。

- A 位置 巻き上げ
- B 位置 時間合わせ



## 機能の使い方

### 時刻合わせ

リューズをポジション **B** に引き出します。時刻合わせをする時はリューズを前後に回すことができます。時間調整時には設定希望時刻より5分進めてから希望時刻に戻すことをお勧めします。歯車のかみあいが正確になり精度がより高くなります。

### ムーブメントの巻き上げ

この時計は手巻き式ムーブメントを備えています。

2日に一度、同じ時間に時計を完全に巻き上げることをお勧めします（リューズ位置は **A**）。巻き上がったならそれ以上リューズに力を加えないよう、ご注意ください。

リューズにはバレルのメカニズムを保護するクラッチシステムがついています。これにより巻き上げ過ぎにより起こる損傷を避けることができます。巻き上げの最後にリューズが切り離されて真芯をそれ以上回さなくなりますが、このクラッチシステムによる軽い抵抗が残ります。



